

# 令和6年度 山梨運輸支局バリアフリーネットワーク会議 概要

## 開催概要

<主催：関東運輸局山梨運輸支局>

- 日時 令和6年11月20日（水）14時00分～16時00分  
○場所 やまなしプラザ オープンスクエア（山梨県庁防災新館1階）  
○議事 （1）関東におけるバリアフリーの現状と関東運輸局の取組について  
関東運輸局  
（2）関東地方整備局のバリアフリーの取組  
関東地方整備局  
（3）改正障害者差別解消法における合理的配慮の提供について  
山梨県福祉保健部障害福祉課  
（4）地域での支え合い（障害理解への第一歩）  
社会福祉法人山梨県障害者福祉協会  
（5）意見交換

## 委員

- <座長>岡村 美好（国立大学法人 山梨大学工学部工学科総合工学クラス 特任准教授）  
茅野 昭勇（一般社団法人 山梨県老人クラブ連合会 副会長）  
山西 孝（社会福祉法人 山梨県障害者福祉協会 副理事長）  
小林 修（一般社団法人 山梨県身体障害者連合福祉会 理事）  
小林 誠（一般社団法人 山梨県視覚障がい者福祉協会 副会長）  
仁科 加代子（一般社団法人 山梨県聴覚障害者協会 事務局長）  
竹下 茂（NPO法人 山梨県精神障害者家族会連合会 理事）

（敬称略・順不同）

## 参画（委員以外）

- 【施設設置管理者等】東日本旅客鉄道（株）八王子支社、富士山麓電気鉄道（株）、山梨交通（株）、富士急バス（株）、富士急山梨ハイヤー（株）、（株）富士レークホテル、（一社）山梨県バス協会、（一社）山梨県タクシー協会  
【関係行政機関】山梨県、山梨県警察本部、県内市町村  
【その他】関東地方整備局、甲府河川国道事務所、関東運輸局

## 講演

【山梨県福祉保健部障害福祉課 障害者差別解消推進員 渡辺 良仁 氏】<講演題目>「改正障害者差別解消法における合理的配慮の提供について」

【社会福祉法人 山梨県障害者福祉協会 副理事長 山西 孝 氏】<講演題目>「地域での支え合い（障害理解への第一歩）」

## 会議での発言（委員より）

- 改正障害者差別解消法の合理的配慮の提供について、合理的配慮が行われたか否かなどを裁定してくれる機関があればよいと考える。
- ホテル等には、できるだけ多くの字幕付テレビを配備して欲しい。
- 路線バスでの行き先アナウンスについて、自動音声案内の他、乗務員からも案内放送を的確に行って頂きたい。
- JRみどりの窓口が減少し、音声案内券売機等が増えてはいるが、聴覚障害者などにとって、より使いやすい購入機器の配備がされることを要望します。
- 県内の公共観光施設で手話ガイドを導入しているのは、ふじさんミュージアムと山梨県立世界文化遺産センターの2箇所なので、より多くの施設で取り入れて頂きたい。
- 美術館や博物館等に動画紹介がある場合は、手話通訳や字幕の挿入があると聴覚障害者は情報が理解しやすくなるので、情報提供の仕方を工夫して欲しい。

# 令和6年度 千葉運輸支局バリアフリーネットワーク会議 概要

## 開催概要

<主催：関東運輸局 千葉運輸支局>

○日時：令和6年11月29日（金）13:30～15:30

○場所：千葉県自治会館

○議事（1）バリアフリーの取組事例

国のバリアフリーへの取組（整備局・運輸局）

（2）意見交換

## 委員

（敬称略）

<座長> 藤井 敬宏（日本大学理工学部 特任教授）  
本宮 敏雄（千葉県身体障害者福祉協会 理事長）  
今野 正隆（千葉県視覚障害者福祉協会 会長）  
植野 圭哉（千葉県聴覚障害者協会 所長）  
若杉 真紀（千葉県手をつなぐ育成会 理事）  
鴨 省次郎（千葉県精神障害者家族会連合会 副理事長）  
菊池 裕美（千葉県自閉症協会 監事）  
那須 陽子（酒々井町水仙クラブ連合会 副会長）

## 参画（委員以外）

【施設設置管理者等】東日本旅客鉄道(株)、京成バス(株)、エミタスタクシー南総(株) 他  
(公財)交通エコロジー・モビリティ財団、(一社)日本民営鉄道協会、(一社)千葉県タクシー協会  
【関係行政機関】千葉県、千葉市、四街道市、佐倉市、銚子市、香取市、九十九里町、横芝光町  
【その他】 関東地方整備局、千葉国道事務所、関東運輸局

## 講演

【交通エコロジー・モビリティ財団】「障害当事者参加型のバリアフリー研修」

## 会議での発言（委員より）

- ・市役所や海浜病院建替時において、障害者団体の申入れによる整備を図っていただいた。（ストレッチャー利用可能駐車場等）
- ・鉄道利用時の急病者対応で、自分が一歩踏み出せば、周囲の乗客や車掌等が適切に対応できる社会であることを再認識した。
- ・駅間・駅員等の連絡調整や対応により、広い東京駅においてもスムーズな移動ができた。全国に広まってくれば有り難い。
- ・カームダウンスペースの設置により、自閉症の子どもを抱える親子等の外出機会に繋がる。普及していただきたい。
- ・JRは100kmを超えないと精神障害者への割引がされないため、100km未満でも割引して頂きたい。
- ・ITの普及と人員削減等により、便利になった反面、みどりの窓口縮小や対面での切符購入がなくなり、IT機器に不慣れな高齢者や障害者等が困っている部分もある。
- ・障害者差別解消法の合理的配慮の提供を行うにあたって、障害者等と事業者を結び・調整を図る組織が必要と感じる。
- ・エレベーターが設置されていない駅があるので、早急にバリアフリー整備をして頂きたい。

# 令和6年度 東京運輸支局バリアフリーネットワーク会議 概要

## 開催概要

- 日時：令和6年12月6日（金）14:00～16:00
- 場所：品川区立総合区民会館「きゅりあん」7階イベントホール
- 議事：○国のバリアフリーの現状と取組について（関東運輸局、関東地方整備局）
  - 関係機関におけるバリアフリーの取組について（東急電鉄株式会社、品川区）
  - 意見交換等

## 委員

（敬称略）

- 〈座長〉 森本 章倫（早稲田大学 理工学術院 教授）
- 有山 一博（公益社団法人東京聴覚障害者総合支援機構 東京都聴覚障害者連盟 福祉対策部付）
- 川村 和利（公益社団法人東京都盲人福祉協会 副会長）
- 三好 由加（社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会 東京都手をつなぐ親の会 施策部会長）
- 兼子 久（公益社団法人東京都老人クラブ連合会 副会長）
- 松永 実千代（一般社団法人東京精神保健福祉士協会 会長）
- 三宅 裕（公益社団法人東京都身体障害者団体連合会 会長）

## 参画（委員以外）

【施設設置管理者等】バス事業者15者、鉄道事業者9者 【関係協会】一般社団法人東京バス協会、一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 【関係行政機関】警視庁、東京都、区市町村31者、関東地方整備局、関東運輸局

## バリアフリーの取組等

- 東急電鉄株式会社：ハード面での取組（ホームドア、バリアフリールート整備、旅客トイレのリニューアル、ホームと車両の隙間・段差縮小）、ソフト面での取組（駅係員の接客技術の向上、精神障がい者割引制度の導入、乗降時に介助が必要なお客さま向けの事前受付サービス、キャンペーン等）
- 品川区：道路のバリアフリー（バリアフリー特定道路の整備、踏切道手前部の視覚障害者誘導用ブロックの整備、点字ブロックを活用した音声による移動支援）、公園のバリアフリー（改修に合わせたユニバーサルデザイン化、インクルーシブ公園の整備）、鉄道駅でのバリアフリー（エレベーター等の設置、可動式ホーム柵の設置）

## 会議での発言（委員より）

- ・QR乗車券や電子決済など、スマートフォンを使える人、使えない人がいるため、意見交換の場など多くの方が使えるような仕組みづくりをしてほしい。
- ・タクシー利用や切符購入のためのウェブやアプリが視覚障害者単独でも利用できるように改善を図ってほしい。
- ・2025年は東京でデフリンピックが開催され、各国からも聞こえない方がおいでになるので、それに向けてきちんと対応できるようにしてほしい。
- ・改札でエラーが出た際に音が鳴っているようだが、聞こえない立場としてはそのエラー音が聞こえないので、いきなり改札機が閉まってびっくりしてしまう。音での情報では何が起きたのかわからないので、目で見てわかる情報提供をしてほしい。
- ・最近無人駅が増えている。聞こえない人間としてはコミュニケーションが必要な部分がある。例えば、インターホンでの対応では声が聞こえないので分からないし、声を出して話すこともできない。音声を文字情報にして連絡できるアプリがあるようだが、十分に普及しているとは言えないので、文字でコミュニケーションが取れるようにしてほしい。
- ・行政機関が開催する協議会や計画等において障害者団体が参画できるようになってきているが、1つの障害者団体のみではなく複数の障害者団体が参加できるようにしてほしい。
- ・JR東日本我孫子運輸区では「やさしい日本語」で車内放送を行っている。知的障害者は災害時や遅延時など平時と違う状況下では不安になるため、他の事業者においてもこのような分かりやすい言葉による情報提供を行ってほしい。
- ・交通事業者の職員への知的障害への理解啓発をしてほしい。
- ・第1種知的障害者及び介助者用の交通系ICカードがセットで発行されるようになったのは大変ありがたいが、第2種知的障害者用にも拡大してほしい。また、障害者用の定期券も通学定期券のように、券売機など有人の駅まで出向かなくても更新できるようにしてほしい。
- ・バスがバス停に正着できないと、バスと道路の間に段差ができて高齢者や障害者にはバリアとなってしまう。バスとバス停の隙間を狭くする研究開発をして実際に導入している場所もあるようだが、どうバリアをなくすかを考えてほしい、高齢者や障害者がスムーズに安心・安全に利用できる日常の足を確保してほしい。
- ・精神障害は外からは見えないので、精神障害者に対するバリアフリーは難しいと思うが、誰もが使いやすいものは精神障害者にとっても使いやすいと思うし、非常時にパニックになる可能性があるため、ソフト面での取組も進めてもらえると思う。

# 令和6年度 神奈川運輸支局バリアフリーネットワーク会議 概要

## 開催概要

<主催：関東運輸局神奈川運輸支局>

- 日時：令和6年12月9日（金）14:00～16:20
- 場所：神奈川県トラック総合会館 7階 大研修室
- 講演：・東海大学建築都市学部 教授 梶田 佳孝 氏  
・神奈川中央交通株式会社  
お客サービス担当 課長 松本 大造 氏
- 情報提供：国におけるバリアフリーの現状と取組について  
（関東運輸局、関東地方整備局）
- 意見交換：講演、各委員からの意見や提案に関する意見交換

## 委員

（敬称略）

- <座長> 梶田 佳孝（東海大学建築都市学部 教授）  
外山伊知郎（公益財団法人 横浜市老人クラブ連合会 総務課長）  
内藤 則義（公益財団法人 神奈川県身体障害者連合会 会長）  
武山 静江（特定非営利活動法人 神奈川県視覚障害者福祉協会 女性部会長）  
内田 元久（一般社団法人 神奈川県聴覚障害者連盟 理事）  
六角 ちい（横浜市心身障害児者を守る会連盟 幹事）  
高宮 靖（特定非営利活動法人 神奈川子ども未来ファンド 理事）  
清水 弘子（特定非営利活動法人 かながわ福祉移動サービスネットワーク 理事長）

## 参画（委員以外）

- 【施設設置管理者】鉄道事業者8者 バス事業者9者 タクシー事業者3者  
【関係団体】一般社団法人神奈川県バス協会、一般社団法人神奈川県タクシー協会、交通エコロジー・モビリティ財団  
【関係行政機関等】神奈川県、神奈川県警察本部、横浜市、相模原市、茅ヶ崎市、横須賀市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、逗子市、秦野市、厚木市、大和市、座間市、綾瀬市、寒川町 【国土交通省】関東運輸局、関東地方整備局

## 講演

- 【東海大学建築都市学部 教授 梶田 佳孝 氏】「ICTの活用とバリアフリーについて」  
【神奈川中央交通株式会社 お客サービス担当 課長 松本 大造 氏】「『ICTの活用とバリアフリー』について」

## バリアフリーの取り組み等

- 【神奈川中央交通株式会社】
- ・ノンステップバスの導入率は約74%。バスロケーションシステム上でも、ノンステップバスかどうかが表示されるシステムとなっている。
  - ・AIオンデマンド交通（藤沢）では、データを蓄積することである程度お客様に合わせた運用がされている。  
こうしたAIによるニーズのくみ取りにより、リクエストに応えることができるようになり、バリアフリーにも活用できるものと期待している。
  - ・電動車いすについて、身をもって実際の状態を理解するため、メーカーと協力し乗務員の体験教育を開始している。

## 会議での発言（委員より）

- ・鉄道等は案内板のデジタル化が進んでおり、使い勝手が良くなり非常によいことだと思う。  
逆にバスやタクシーは放送や口頭のみ案内が続いており、聴覚障害者にとって不便な状態となっている。タブレットやモニターの活用をお願いしたい。
- ・エスカレーターを歩く人がいまだに多く、視覚障がい者にとって危険な状況。立ち止まるよう、一層のPRや監視員を配置するなどの取組が必要ではないか。
- ・バスの前降り、前乗りについて統一されていないため、障がい者手帳を出すタイミングが異なり不便。
- ・ロービジョンの視覚障がい者にとって、目を近づけて見られるスマートフォンで、様々な情報を入手できるようになり便利になった。  
一方でスマートフォンを使えない方々もいるため、人的対応によるフォローは引き続き必要だと思う。
- ・目線の高さに案内を表示しても、距離があると見えにくい場合もあるため、階段のステップ等近くにも表示があるとよいのではないか。
- ・2025年には日本で初めてデフリンピックが開催される。多くの聴覚障がい者が来訪するので、安全に参加・応援出来るようなコミュニケーション方法をお願いしたい。
- ・横浜市でも高齢化が進んでおり、信号を渡りきれず外出を控える高齢者が増えている。信号の間隔を長くするなど、ソフト面での改善も進めて欲しい。